

修飾語句が入り込む事によって主語・動詞のつながりが把握しにくい例

①In the Middle Ages, **milk was** still popular as a medicine.

中世において、ミルクはまだ薬として普及していた。

②When you come across new words, **you must look** them up in your dictionary.

未知の語に出会った時には、辞書で調べなければならない。

③Unlike birds, which feed and shelter their young, **fish abandon** their eggs.

鳥が自分の雛に餌をやったり守ったりするのは違って、魚は卵を産みっぱなしにする。

④**The attitude** of the court toward young criminals **is** different from its attitude toward adult criminals.

裁判所が未成年の犯罪者に対してとる姿勢は、成人の犯罪者に対する姿勢とは異なる。

⑤**Air**, like food, **is** a basic human need.

空気は食べ物と同様に、人間が根本的に必要とするものだ。

⑥All **the roads** leading into the city **are** full of cars.

その都市に入る未知はすべてクルマで一杯である。

⑦**A man** named George **was staying** at a hotel.

ジョージという名の人があるホテルに滞在していた。

⑧**This monkey**, trained properly, **will be** able to do a lot of tricks.

この猿は、きちんと仕込めばいろいろな芸ができるようになるだろう。

⑨**The student** who finishes an examination first **does not** necessarily **get** the best grade.

試験を最初にやり終える学生が必ずしも一番いい成績を取るわけではない

⑩**Experience**, when it is dearly bought, **is never discarded**.

経験というものは、大きな犠牲を払って得た場合、決して忘れてしまうことはないものだ。

「全体で名詞として働く句や節」

①**To play** the part of Juliet **was** her dream.

ジュリエットの役を演じることが彼女の夢だった。

②**Being** honest at all times **is** not always easy.

いつでも正直にしていることは、必ずしも簡単なことではない。

③**That** John has bought a Rolls Royce **is** true.

ジョンがロールスロイスを買ったというのは本当である。

④**Whether** he will come or not **is** not certain.(天気:weather)

彼が来るか否かは定かではない。

「SVOC:C=形容詞・名詞・不定詞」

①Cat **keep** themselves and their surroundings **clean**.

猫は自分自信と自分たちの周りを清潔に保とうとする。

猫は自分の体と身の回りをきれいな状態に保つ。

②**Being** honest at all times **is** not always easy.

いつでも正直にしていることは、必ずしも簡単なことではない。

③**That** John has bought at Rolls Royce **is** true.

ジョンがロールスロイスを買ったというのは本当である。

④**Whether** he will come or not **is** not certain.(天気:weather)

彼が来るか否かは定かではない。

